

No.	008	—	4001	事務事業名	母子福祉費	細事務事業名	母子父子自立支援事業	公的関与	1				
PLAN	課名	社会福祉課	係名	児童福祉係	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(3)ひとり親家庭の自立支援の推進				
	事業の対象	母子家庭の母または父子家庭の父				根拠法令	母子及び父子並びに寡婦福祉法						
	事業の目的	最終的	母子家庭の母または父子家庭の父が自立し、家庭生活の安定を図ることを目的とします。			今年度							
	活動内容	①	申請により、自立支援教育訓練給付金を支給(受講修了後)			④	母子父子自立支援員による相談業務						
		②	申請により、高等職業訓練促進給付金を支給(毎月支給)			⑤							
		③	定期的に受給者の状況確認を実施、必要に応じて貸付制度を利用										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標			
		高等職業訓練促進給付金受給者数	高等職業訓練促進給付金の受給者数		人	目標	2	2	2	3			
			実績	0		0							
自立支援教育訓練給付金受給者数		自立支援教育訓練給付金の受給者数		人	目標	1	1	2	3				
					実績	2	2						
				人	目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	民生			費			
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考					
		国・県支出金	95 千円		150 千円		1,970 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	1,903 千円		1,760 千円		2,682 千円						
	計(A)	1,998 千円		1,910 千円		4,652 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)	1,998 千円		1,910 千円		4,652 千円							
一次評価者	児童福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	ひとり親家庭の貧困率が高く、就職に有利になる資格取得のニーズは増加傾向にあるため、必要性が高いと考えられます。												
有効性	自立した生活が営めるよう、様々な資格取得を推奨する有効な事業です。												
達成度	高等職業訓練促進給付については、専門学校に通う数年間、収入が無くなってしまふ等の不安がありますが、自立支援教育訓練給付については、通信教育により短期間で講座を受講できることから、今後も周知を図る必要があります。												
効率性	制度改正により支給期間の延長や給付額も増額され、今後もより一層の充実を図る必要があると考えます。												
当面の課題	高等職業訓練促進給付については、相談はあるものの訓練期間に収入が無くなることや子育てとの両立等不安もあり新規申請に至っていないのが現状です。希望する資格取得のための適正な周知が出来るかどうか今後の課題です。自立支援給付事業については、短期間で資格を取得出来ることから、申請は増えると思われます。												
改 革 画	貸付制度等の説明を行い、関係機関(社会福祉協議会等)と連携を密にして、情報を共有し、支援体制を確立します。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	ひとり親に対し、就職に有利になる資格取得等の支援は、世帯の自立に向けた有効な施策であると考えます。引き続き制度の周知徹底を図るとともに、関係機関との連携を強化し、支援体制の充実に努めていく必要があります。												

No.	008	—	4002	事務事業名	DV・婦人保護事業		細事務事業名	DV・婦人保護事業		公的関与	4		
PLAN	課名	社会福祉課		係名	児童福祉係		電話番号	089-964-4406		メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	内部管理事務・その他		事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	平成	年度	～	期間設定なし
	総合計画	政策目標	第5章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	2 男女共同参画社会の形成		主要施策	(4) 男女が健やかに安心して暮らせるまちづくり				
	事業の対象	DV被害者					根拠法令	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律					
	事業の目的	最終的	DV被害者の安全を確保と、関係機関と連携しながら自立の促進を図る。				今年度	啓発活動の充実に努める。					
	活動内容	①	相談の内容によって、警察や配偶者暴力相談支援センター、病院等関係機関につなぐ。				④	パンフレット等の配布(啓発活動)					
		②	加害者から離れ、身の安全を確保する。				⑤						
		③	新しい生活をするための相談業務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標			
		相談件数		来所による相談		件	目標 0	0	0	0			
事務の性質上指標設定になじまない。				人	実績 2	9							
				人	目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	民生			費			
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考					
		国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円					
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円					
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円					
		一般財源		0 千円		0 千円		0 千円					
	計(A)		0 千円		0 千円		0 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.150 人	902 千円	0.159 人	975 千円	0.150 人	936 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.010 人	20 千円	0.010 人	20 千円					
	全体事業費(A+B)		902 千円		995 千円		956 千円						
一次評価者	児童福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	相談内容は複雑で困難な事例が多くなっているように感じる。命にかかわることであり、愛媛県が設置している配偶者暴力支援センターや、警察等と連携し、被害者の身の安全を確保するために必要です。												
有効性	相談業務において、様々な機関があることを伝え、被害者が安心して生活できるように支援していく必要があります。												
達成度	相談内容によって、適切な専門機関へつなぐことが重要であり、関係機関と連携を取りながら行っています。												
効率性	命にかかわることであり、被害者を保護するために関係機関との連携強化を図ります。												
当面の課題	相談内容は犯罪となる行為も含む事例も見受けられ、今後複雑で困難な内容が増えてくるのではないかとと思われる。潜在的ニーズの把握が難しい。												
改 革 計 画	対応相談員が適切な対応や助言ができるよう、DV対応相談員の研修に積極的に参加する。啓発活動を行う。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	年々相談内容が複雑化、多様化しており、婦人相談所や警察等専門機関との連携強化の必要性が高くなっています。相談を担当する職員においては、引き続き研修等専門的な知識の習得に努めていく必要があります。												